

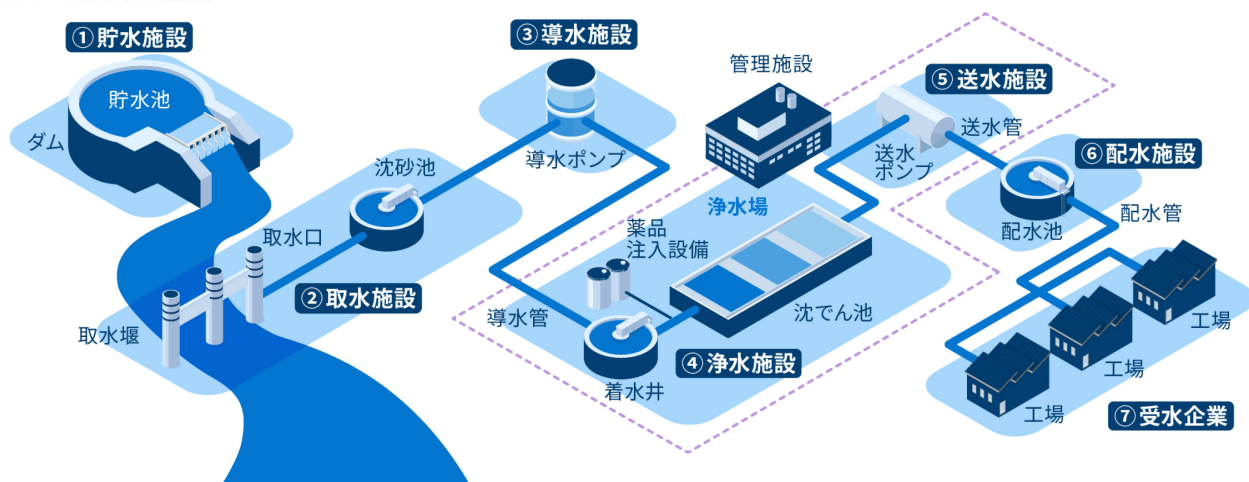
ウォーターPPPって なんだろう？

01 工業用水道事業とは？

工業用水道事業とは、製造業や電気・ガス・熱供給業の工業活動に必要な水（水力発電用・飲用を除く）を、企業の需要に応じ供給する事業です。

企業が安心して生産活動を行えるよう豊富・低廉な水を安定的に届けることで産業基盤として重要な役割を担うとともに、河川などの表流水を活用することで地下水の過剰利用を抑制し、地盤沈下の防止に寄与するなど、環境保全にも貢献しています。

主な工業用水道施設



02 工業用水道事業の現況

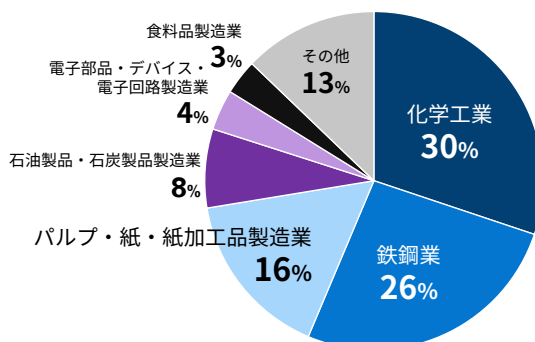
工業用水道の使用状況を産業別にみると、化学工業が30%で最も多く、続いて鉄鋼業が26%、パルプ・紙・紙加工品製造業が16%となっています。

また、主な用途は、冷却・温調用水、製品処理・洗浄用水、ボイラー用水、原料用水です。

工業用水の主な用途



工業用水の産業別使用状況



03 工業用水道事業が抱える課題

工業用水は、企業の生産活動を支える「産業の血液」として必要不可欠なものです。自治体職員の減少や、料金収入及び契約水量の減少、管路の老朽化など、事業環境は一段と厳しさを増しています。

工業用水道事業の経営を持続可能なものとし、企業へ安定したサービスを提供し続けるためには、こうした課題への適切な対応が必要となります。

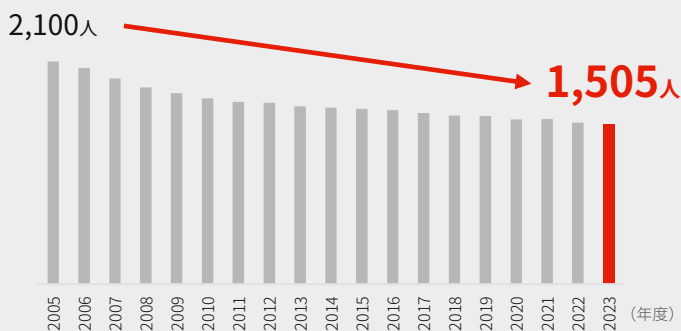
ヒト

職員数の減少



過去20年間で、
工業用水道事業の職員数は

約3割減少



出典：総務省「地方公営企業年鑑」

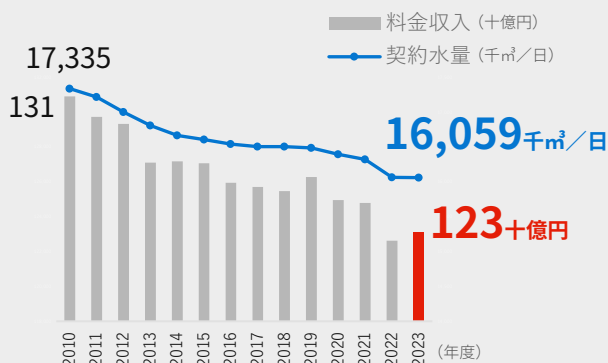
カネ

料金収入の減少



産業構造の転換や
水利用の合理化を背景に、

**料金収入・契約水量
はともに減少傾向**



出典：総務省「地方公営企業年鑑」

モノ

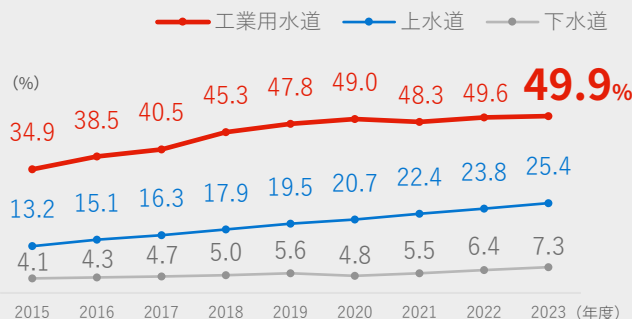
施設の老朽化



法定耐用年数（40年）を
超えた管路の割合は

**約50%に達し、
上下水道と比較して
高く推移**

管路経年化率



出典：総務省「地方公営企業年鑑」

04 ウォーターPPPとは

官民連携（PPP/PFI）とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的な使用や行政の効率化等を図るものです。業務範囲の広さに応じてレベル1～4に分類され、このうち、民間裁量の自由度が高いとされているコンセッション方式（レベル4）と管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）の2つの手法を総称してウォーターPPPといいます。

コンセッション方式は、利用料金の徴収を行う公共施設について、施設の所有権を公共主体が有したまま、施設の運営権を民間事業者を設定する方式です。

一方、管理・更新一体マネジメント方式はレベル4に準ずる効果が期待でき、将来的なレベル4への段階的移行を見据えた方式であり、基本的に国が定める4要件を満たすことが必要となります。

管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）

長期契約 (原則10年)

長期の事業期間により民間事業者の参画意欲を促進

性能発注

民間のノウハウ・創意工夫が発揮しやすいよう満たすべきサービス水準を定め発注

維持管理と更新の 一体マネジメント

個別に実施していた維持管理と更新を一括発注し効果的・効率的に実施

プロフィットシェア

事業開始後も民間事業者によるライフサイクルコスト削減の提案を促進

05 ウォーターPPPの効果・メリット

ウォーターPPPを導入することにより、工業用水道の課題である職員数の減少や施設の老朽化、経営改善ひいては工業用水道料金の大幅な上昇の抑制等に対して効果が期待されます。

1

新技術や民間の ノウハウの活用による 担い手不足への対応

- ◆ ICTなどの新技術等を活用した省人化による担い手不足への対応
- ◆ 長期契約により専門性の高い人材育成が可能

2

効率的かつ効果的な 維持管理・更新

- ◆ 民間のノウハウ・創意工夫を活用した運転管理、点検等の実施による施設機能の維持
- ◆ 更新施設への新技術等の活用

3

財政負担の軽減や 工業用水道料金の 上昇抑制

- ◆ 複数業務の一本化と長期契約によるスケールメリットを活かしたコスト削減
- ◆ 計画的かつ効果的な維持管理や更新への投資
- ◆ 工業用水道料金の大幅な上昇の抑制

06 ウォーターPPPの先行事例

事業名

大阪市工業用水道特定運営事業等

特徴・効果等

- ◆ ユーザーにとってインセンティブの高い料金設定や新たなサービス等により新規需要を開拓
- ◆ 管路の効率的・効果的な維持管理・更新の取組として、状態監視保全手法を導入
- ◆ 重要度の高い管路に対し、地下漏水の発生を365日通年監視・自動検知するための漏水音センサーを設置
- ◆ 維持管理・更新の合理化、新規需要開拓による収益性向上を見込む

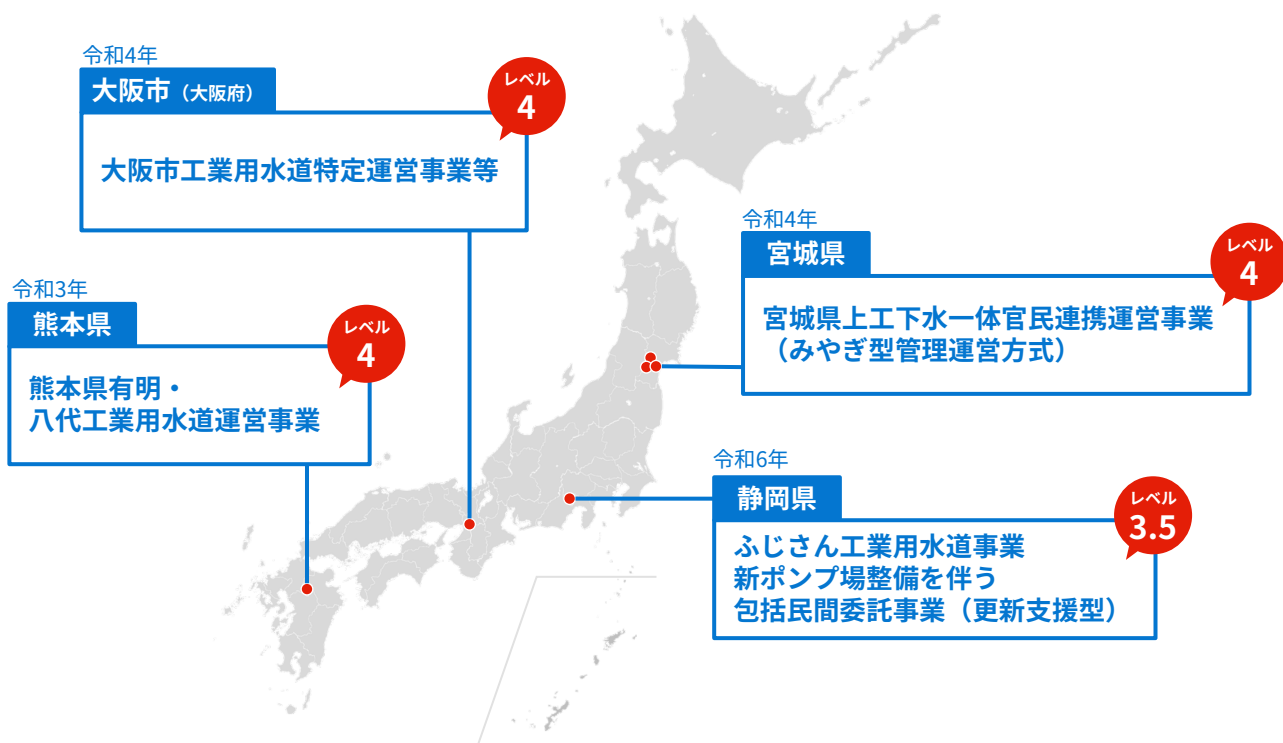
コンセッション方式

■ 事業範囲



07 ウォーターPPPの実施状況

(令和8年2月時点)



関連資料

- ウォーターPPPの概要
https://www8.cao.go.jp/pfi/actionplan/pdf/water_gaiyou.pdf
- 内閣府 PPP/PFI推進アクションプラン (令和7年改訂版) の概要
https://www8.cao.go.jp/pfi/actionplan/pdf/actionplan_r7_1.pdf